

行政評価シート(事後評価)

コード 8-3-2	事務事業名 道路区画線等設置事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	---------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	道路安全施設を整備することにより、道路交通の円滑化を図るとともに、交通事故防止及び道路通行者の安全を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input checked="" type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	既設のカラー舗装部の損耗がひどく、路面標示の判明がしづらくなっている箇所において標示をし直し、交通安全対策を図る。 道路バトロール及び市民からの要望に基づき、現地調査を行った後、単価契約業者に依頼して実施する。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			9,741	12,070	11,772
財源: 国庫支出金・都支出金		千円				
財源: 地方債		千円				
財源: 内: その他 ()		千円				
財源: 認識: 一般財源		千円	9,741	12,070	11,772	12,263
所要人員(B)		人	0.29	0.37	0.22	0.26
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	2,374	3,020	1,795	2,122
臨時職員等賃金(C')		千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	12,115	15,090	13,567	14,385
単位当たりコスト						
(E)=(D)/ (道路区画線施工の延長)		千円	734	1372	1150	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	道路区画線施工の延長	実績値	km	16.5	11.0	11.8	
スクールゾーン補修箇所数	実績値	か所	5	10	16		
(指標の説明・数値変化の理由 など) 道路区画線延長の総距離							
評価指標の設定	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 市内交通事故発生件数	目標値	件数			865	836
実績値		件数	1,028	939	905		
二 次	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民からの設置要望もある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市及び区でも実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 8-3-2	事務事業名 道路区画線等設置事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	---------------------	--------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>現在、市内の道路に必要な区画線は設置されているが、磨耗頻度により消えかけた区画線は順次補修工事を実施している。</p> <p>また、スクールゾーン、路側帯は児童や歩行者の安全確保のため警察と協議して設置している。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	3			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>定期的なパトロールにより、順次、補修を行っている。また、一次評価にもあるとおり、警察との協議により、スクールゾーン表示や交差点鉾の設置を進めている。今後も、関係機関と協議を進め、安全確保のための対策を講じる必要がある。</p> <p>最近、路側帯をグリーン塗装して視認性を強化したり、一定の幅員を有する道路には自転車専用レーンを設けたりするなど、さらに安全性を確保する取り組みも求められている。限られた予算の中ではあるが、効果的な安全確保への対策を図る必要がある。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	3			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>引き続き、地域住民や警察等と連携を図りながら、交通安全施設の整備に取り組まいたい。</p>